**令和６年度大阪府がん対策推進委員会 第１回肝炎肝がん対策部会（概要）**

１.　日　時　　令和７年３月６日（木）午後６時００分～７時００分

２.　場　所　　國民會館大阪城ビル12階　小ホール

３.　議　事

（１）大阪府肝炎専門医療機関及び肝炎協力医療機関の指定等について

（２）令和５年度肝炎専門医療機関の現況報告について

（３）肝炎医療コーディネーターについて

（４）肝炎ウイルス検査の重点勧奨（普及啓発）について

（５）肝炎検診精度管理基礎調査の結果報告について

（６）肝炎・肝がん対策事業について

　　　①肝炎初回精密検査費用助成事業及び肝炎定期検査費用助成事業について

　　　②肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業について

（７）第４期大阪府がん対策推進計画の進捗管理について

（８） その他

４．委員からの意見要旨と審議結果

（１）大阪府肝炎専門医療機関及び肝炎協力医療機関の指定等について

　　【意見要旨】

　　　〇特に意見なし。

　　【審議結果】

　　　〇承認

（２）令和５年度肝炎専門医療機関の現況報告について

　　【意見要旨】

　　　〇特に意見なし。

（３）肝炎医療コーディネーターについて

　　【意見要旨】

　　　〇コーディネーターには５年間の任期があるため、任期満了によりコーディネータ

　　　　ーが減少することがないよう、更新の受講勧奨を強化していただきたい。

　　　〇任期満了となるコーディネーターのうち、更新した割合を評価していくべき。

　　　〇コーディネーターの具体的な役割の明確化や活動促進が課題である。ウイルス性

　　　　肝炎だけでなく、脂肪性肝疾患も含めて支援するなど、活動の幅を広げていく必要

　　　　がある。

（４）肝炎ウイルス検査の重点勧奨（普及啓発）について

　　【意見要旨】

　　　〇市町村における好事例として、メールマガジンやコミュニケーションアプリ等の

　　　　SNSを活用した普及啓発を行っている。府においてもSNSを活用した普及啓発を充

　　　　実させていただきたい。

（５）肝炎検診精度管理基礎調査の結果報告について

　　【意見要旨】

　　　〇受検者における60～70歳代の割合が増加しており、重点勧奨対象に対する取組の

　　　　成果が得られている。

（６）肝炎・肝がん対策事業について

　　【意見要旨】

　　　〇定期検査費用助成について、申請書類を集める労力に比べて助成額が少ないとい

　　　　う患者の声を聞いている。所得制限等の要件緩和を行っていただきたい。

　　　〇無症候性キャリア（ウイルス血症はあるがトランスアミナーゼは正常）は、特定B型肝炎ウイルス感染者定期検査費等受給者証の対象となるが、高齢者で自然経過の中でウイルスが減少し、ウイルス血症はないが（肝炎を起こし消失）、B型肝炎感染既往のため、既に慢性肝炎・肝硬変である患者（HBc抗体陽性）は、特定B型肝炎ウイルス感染者定期検査費等受給者証の対象とされにくい事。府の事業ではないが、特定B型肝炎ウイルス感染者定期検査等受給者の必要項目に、年に2回の造影剤を用いたCT・MRIが認められているにも拘わらず、造影剤検査を行う際に必ず必要となる、腎機能評価のクレアチニン検査が特定B型肝炎定期検査の対象外であることは不適切であり疑問を感じる。患者にとって必要な検査は全て助成対象とするべき。

　　　〇肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業の指定医療機関を充実させる必要がある。

（７）第４期大阪府がん対策推進計画の進捗管理について

　　【意見要旨】

　　　〇特に意見なし。

（８）その他

　　【意見要旨】

　　　〇令和６年12月からマイナ保険証を基本とする仕組みへ移行している。 肝炎肝が

　　　　ん医療助成においてもマイナンバーを用いた情報連携を実施し、申請手続きの簡

　　　　素化を図っていただきたい。